

3. 地域理解の促進に向けた取組について

地域連絡協議会の開催

①協議会の趣旨

地域住民に、感染症研究拠点整備に関する検討状況に関して情報提供を行うとともに、地域住民の安全・安心の確保等について協議をするため、長崎県・長崎市・長崎大学による協議会のもとに地域連絡協議会を設置。

②地域連絡協議会の構成員(令和3年2月12日時点)

1. 近隣連合自治会長・自治会長(7名)

- (1) 石田 和典 高尾地区連合自治会長
- (2) 梶村 龍太 平野町山里自治会長
- (3) 久米 直 山里地区連合自治会長
- (4) 田中 通孝 江平自治会長
- (5) 道津 靖子 山里中央自治会長
- (6) 内藤 勉 平和町自治会長
- (7) 松尾 寿和 本尾町自治会長

2. その他地域住民等(5名)

- (8) 江頭 潔 公募委員
- (9) 神田 京子 公募委員
- (10) 寺井 幹雄 公募委員
- (11) 原 拓也 公募委員
- (12) 藤原 義博 公募委員

3. 学識経験者・専門家(7名)

- (13) 泉川 公一 長崎大学病院感染制御教育センター長・医歯薬学総合研究科教授
- (14) 加藤 純 長崎都市経営戦略推進会議事務局長
- (15) 福崎 博孝 弁護士
- (16) 宮崎 辰弥 日本労働組合総連合会長長崎県連合会長
- (17) 森崎 正幸 長崎県医師会長
- (18) 山下 肇 ○ 弁護士
- (19) 吉田 文彦 長崎大学核兵器廃絶研究センター長・教授

4. 行政(2名)

- (20) 伊藤 幸繁 長崎県福祉保健部医療政策課長
- (21) 濱口 一成 長崎市市民健康部次長兼市民健康部地域保健課長

5. 長崎大学(7名)

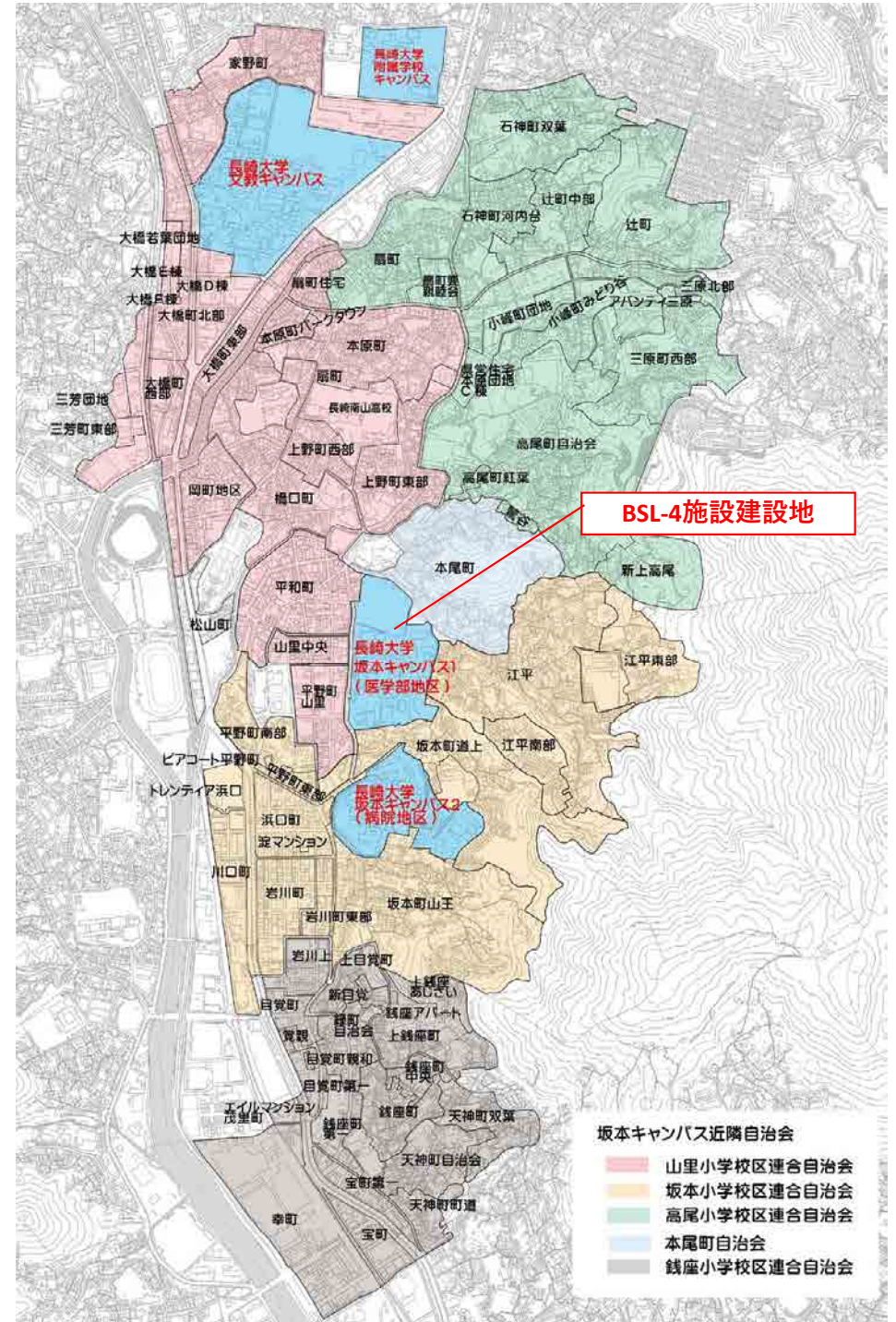
- (22) 調 漸 ◎ 長崎大学副学長・教授
- (23) 安田 二郎 長崎大学感染症共同研究拠点高度安全実験(BSL-4)施設設置準備室長、研究部門長・教授
- (24) 南保明日香 長崎大学感染症共同研究拠点人材育成部門長・教授
- (25) 中嶋 建介 長崎大学感染症共同研究拠点施設・安全管理部門長・教授
- (26) 深尾 典男 長崎大学感染症共同研究拠点地域連携部門長・教授
- (27) 信濃 正範 長崎大学感染症共同研究拠点総務部門長・教授
- (28) 森田 公一 長崎大学熱帯医学研究所長・教授

(◎は議長、○は副議長)

③ 開催実績

開催日	回数	主な議題
H28年5月12日	第1回	BSL-4施設設置計画
6月 2日	第2回	ウイルスの特徴、立地の地価等
6月30日	第3回	施設の安全対策、施設のリスク対策等
7月13日	第4回	国の関与、立地の安全性等
8月 3日	第5回	委員からの質問・意見
8月31日	第6回	委員からの質問・意見
9月 9日		国立感染症研究所の視察
9月27日	第7回	委員からの質問・意見
12月25日	第8回	委員からの質問・意見への回答
H29年2月17日	第9回	基本構想、熱研における病原体の安全管理状況、委員からの質問・意見への回答
5月23日	第10回	基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答
7月4日	第11回	基本構想(中間まとめ)、委員からの質問・意見への回答
8月22日	第12回	基本構想とりまとめ、委員からの質問・意見への回答
12月20日	第13回	基本構想、諸外国のBSL-4施設、安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答
H30年2月9日	第14回	基本構想の印刷・配信、委員からの意見書、委員からの質問・意見への回答、平成30年度予算政府原案、安全確保上考慮すべき事象
3月18日	第15回	前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答、安全確保上考慮すべき事象
5月8日	第16回	安全確保上考慮すべき事象、委員からの質問・意見への回答
6月29日	第17回	BSL-4施設の設計概要、前回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答
7月20日	第18回	委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントに基づく対応、建設までの主な工程
8月10日	第19回	委員からの質問・意見への回答
9月28日	第20回	BSL-3実験室からの排気検査結果、リスクアセスメントに基づく対応、緊急時の対応、委員からの質問・意見への回答
10月26日	第21回	第20回会議での指摘事項、委員からの質問・意見への回答
11月14日	第22回	今後のスケジュール・委員からの質問・意見への回答
12月19日	第23回	委員からの質問・意見への回答
H31年2月6日	第24回	今後のスケジュール、平成31年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答
R元年5月14日	第25回	今後の審議事項、建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答
7月17日	第26回	建設工事の状況、平成30年度予算の執行状況、委員からの質問・意見への回答
9月27日	第27回	建設工事の状況、地域説明の予定、監理委員会や予算要求の状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則の検討

坂本キャンパス周辺の連合自治会・自治会



③ 開催実績

開催日	回数	主な議題
R元年11月19日	第28回	建設工事の状況、説明会等の実施状況、委員からの質問・意見への回答、運用規則・教育訓練
R2年2月7日	第29回	建設工事の状況、地域連絡協議会の報告会、令和2年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答
8月21日	第30回	建設工事の状況、令和元年度予算の執行状況、監理委員会報告、研究棟の建設計画、委員からの質問・意見への回答
8月25日	第31回	委員からの質問・意見への回答
10月14日	第32回	建設工事の状況、令和3年度概算要求、ロードマップ2020の採択、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応①（陽圧防護服）
12月18日	第33回	建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応②（実験者の管理、実験内容の確認及び地域への伝達）
R3年2月12日	第34回	建設工事の状況、令和3年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応③（廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理）



新型コロナに配慮して、会場参加とオンライン参加を併用した開催

地域連絡協議会の開催 【平成28年度からこれまで34回開催】

④ 前回監理委員会以降の開催状況、議題及び主な質疑等

○令和2年8月21日 第30回

【議題: 建設工事の状況、令和元年度予算の執行状況、監理委員会報告、研究棟の建設計画、委員からの質問・意見への回答】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
長崎大学における新型コロナウイルス感染症ワクチンや治療薬の研究開発の状況はいかがか。	ワクチンは効果とともに安全性が一番重要なので、動物実験等も十分に行いながら、安全性が高いものを開発していく方針である。長崎大学では、mRNAを用いたもの、不活化ワクチン、生ワクチンなどを中心に開発を進めている。治療薬についても複数の製薬会社と共同で開発している。
安田教授が開発された蛍光LAMP法検査システムはどれくらい利用が広がっているのか。	キヤノンメディカルと共同開発した蛍光LAMP法検査システムが県内15の医療機関と検査場に重点的に配備された。福岡県や空港、スポーツのイベント等でも使用される予定である。
感染症共同研究拠点の規則の中に明確に軍事利用はできないような規制を作る予定はないのか。	検討中である。長崎大学共同研究規程第3条に「軍事等への寄与を目的とする研究は受け入れの対象としない」と明文化しており、軍事研究に加担するような研究は実施できないようになっている。また研究費に関しても、防衛装備庁からの研究費等は受領しない旨の理事通知が毎年出されており、軍事研究はできないようになっている。

○令和2年8月25日 第31回

【議題: 委員からの質問・意見への回答】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
BSL-4実験室では不正をしないようお互いを監視しあうために2人1組で実験するということであるが、実験者の後ろでもう一人が監視するか。	相互監視するという役割もあり、1つの作業を2人で行うこともあれば、1人が作業してもう1人が監視するということもある。
大学のホームページに森田教授等によるリレー講座の動画があり、感染症について色々わかりやすかった。このような情報を積極的に県民にPRして知らせてほしい。	感染症共同研究拠点のホームページにも高齢者施設や医療機関でのコロナ防止をテーマとした動画を掲載しており、2本で50万回以上閲覧されている。このようなものをさらに積極的に活用していく予定である。
BSL-4施設の安全の基準について、住民の意見も取り入れながら、竣工前に作成していただきたい。	現在、色々なリスク管理について、具体的に一つ一つ紹介している。次回以降は実験者や廃棄物に関する管理運営方法を説明するので、ご意見をいただければと思う。なお、2021年夏の施設竣工後すぐに実験を始めるわけではなく、機材の搬入等を数カ月かけて行い、その後、作成した規則の原案で運用できるかどうかを実際の施設を使用して確認する予定である。したがって、規則のあらまは施設竣工までに作成し、その後応分の年月を要してきちんと運営できるか確認を行い完成させたいと考えている。

○令和2年10月14日 第32回

【議題:建設工事の状況、令和3年度概算要求、ロードマップ2020の採択、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応①(陽圧防護服)】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
<p>竣工後のスケジュールについて教えてほしい。</p>	<p>BSL-4施設(実験棟)は2021年夏の竣工を目指しているが、BSL-4病原体を用いた実験は、竣工後すぐに行えるわけではない。厚生労働省による審査等を経るまでの間はBSL-4病原体を用いずに施設の試験や実験を行う予定である。安全に関する規則等については、厚生労働省による審査を踏まえて見直しを行うことも想定されるので、計画の進捗状況に応じて、地域連絡協議会の場でご相談させていただきたいと考えている。</p>
<p>住民に被害が生じた場合の補償内容について教えてほしい。</p>	<p>(長崎大学)万一、住民の方に被害が生じた場合、被害内容に照らして、大学資金と国立大学法人総合損害保険で補償することを考えている。 (文部科学省)厚生労働省と連携し、住民に被害が及ぶような事故が決して発生しないよう、厳重な安全管理に向けた監督、指導、助言等を行う。補償について、関係省庁は、長崎大学が設置主体としてその責任を果たせるよう必要な支援を行う。</p>
<p>BSL-4施設(実験棟)に隣接して新たに建設される研究棟の工事スケジュール等、自治会に対する説明が不十分だと感じることもある。</p>	<p>地域を回って自治会ごとにご説明させていただきたい。安心して安全な施設をつくり、運営していくために、地域住民の皆様の具体的なご意見をお聞きし、どのような形で行うことが適切かを地域連絡協議会において検討していく。また、幅広くご意見を伺うことに関しては、感染症共同研究拠点ホームページの活用やフリーダイヤルでの対応のほか、公開講座や説明会を通じて、コミュニケーションの促進を図る。</p>
<p>BSL-4施設内での実験に関するリスクとその対策について、具体的に教えてほしい。</p>	<p>実験を行う上で、重大な事故防止のために、実験の全工程についてリスクアセスメントを行った。これに基づき、BSL-4施設での実験に最も重要な陽圧防護服の使用の安全管理について今回の地域連絡協議会でご説明させていただき、今後、実験を行う研究者の健康面や人物面での管理や行った実験についての情報伝達等についても、引き続き地域連絡協議会にてご説明させていただく。</p>

○令和2年12月18日 第33回

【議題:建設工事の状況、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応②(実験者の管理、実験内容の確認及び地域への伝達)】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
地域連絡協議会での議論等をまとめた「BSL-4 Report」を周辺の6自治会3,500世帯へ配布したと聞いているが、自分の自宅へは届いていない。近隣住民の理解と協力を得るためには確実な配布が重要なので、配布方法を検討してほしい。	「BSL-4 Report」は住民の理解促進のためにも重要な配布物と考えているため、より精度の高い配布方法を目指したい。どこに配布できているかがわかるように配布業者には配布マップを提出させるように調整を行っている。
実験室を使用する者の行動に漏れがないか住民が確認できるようにチェックリストを作成し、「見える化」してほしい。	チェックリストを活用し忠実に実行することで事故等の防止につながるため、今後、チェックリストを作成するとともに、チェック項目にきちんと対応できるように教育訓練を行う。
地域への伝達については、何か問題があった時にどうやって報告し、対処していくかということが必要である。	間違いを起こすことがあってはいけないうことだが、間違いを起こした時の対応がとても大事になるので、地域への伝達方法も含め今後よく検討したい。

○令和3年2月12日 第34回

【議題:建設工事の状況、令和3年度予算政府原案、委員からの質問・意見への回答、リスクアセスメントを踏まえた対応③(廃棄物、排気及び排水の処理、実験動物の管理)】

委員からの主な質問・意見	大学等からの回答
安全対策と危機管理については少しずつ具体的なものが出てきているが、3月までにある程度まとめたものを作成してほしい。	大学が作成した資料への委員からのご指摘を踏まえ、住民の方にお示しできるような配布資料をまとめていきたいと考えているが、もう少し時間をいただきたい。
緊急時の市の危機管理が見えてこない。市としての考え方をもう少し具体的に教えてほしい。	長崎市としては、想定を超えるような事態への対応として、迅速かつ的確な情報伝達は重要であると考えている。情報伝達については、様々な事象に対してどのようなタイミングで、どのような内容をお伝えするか、また、その伝達範囲などを長崎大学と検証し、完成後のBSL-4施設を使用して行われる確認や訓練を通して、具体的に整理していく。長崎市としては、住民の皆様の生命や健康を守るため、特定一種病原体等を用いるまでには準備が整うよう、施設管理者である長崎大学とともに、引き続き検討していく。
新型コロナの関係で住民に対する説明が不十分になっているのではないかと。今は自治会に出向いて説明をすることは無理であるが、説明するための方法を考えてほしい。	会合そのものが開きにくい状況になっており、確かに住民とやりとりができない形が続いている。それを埋めることも含めて、「BSL-4 Report」を配布しているが、十分に伝わっていないような気もするので、何らかの方策を考えたい。

地域理解活動(最近の活動状況)

○地域住民を対象とした説明会等

地域連絡協議会の報告会等住民説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

○関係団体を対象とした説明会

令和2年12月25日(金) 長崎都市経営戦略推進会議

- ・BSL-4実験棟等の建設状況(調 漸 副学長)
- ・地域住民の露海促進活動(調 漸 副学長)
- ・感染症の将来展望(安田 二郎 室長)



長崎都市経営戦略推進会議での説明会

○県・市議会を対象とした説明会

令和2年12月16日(水) 長崎県議会議員(7会派中6会派28名参加)

- ・BSL-4実験棟等の建設状況(調 漸 副学長)
- ・地域住民の理解促進活動(調 漸 副学長)
- ・感染症の将来展望(安田 二郎 室長)

令和3年 2月15日(月) 長崎市議会議員(明政クラブ9名参加)

- ・新型コロナウイルス感染症について(金子 総 教授)
- ・長崎大学BSL-4施設 建設工事の進捗と将来展望に関する説明(調 漸 副学長)



長崎県議会での説明会

○BSL-4施設等の視察・見学等

令和2年11月 4日(水) 福岡県議会厚生労働環境委員会(18名参加)

令和2年11月13日(金) 福岡県議会議員提案政策条例検討会議(14名参加)

○地域イベントへの参加等

令和2年12月19日(土) 平和町商店街イルミネーション点灯式
(その他令和2年度に参加予定の地域イベントはすべて中止)



平和町商店街イルミネーション点灯式

地域理解活動(最近の活動状況)

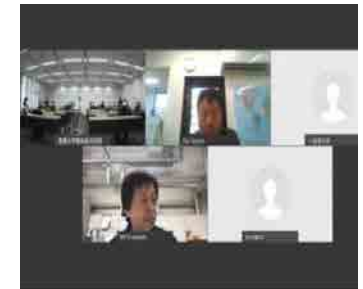
○市民向け公開講座等

令和2年 7月19日(日) 熱研夏塾オンラインセミナー(共催)

令和2年12月19日(土) 市民公開講座「身近に潜む感染症と向き合う」
～ダニ・蚊が持つウイルスとの攻防を通じて～
講師：好井健太郎 教授(30名参加)



市民公開講座会場参加者



オンライン参加者

○刊行物

令和2年12月 コンセプトパンフレット Nプラス BSL-4 2,000部発行

医療・経済団体、公民館等公共施設、国、県・市議会議員
文科省、厚生労働省、内閣府等に配付
その他、説明会、市民公開講座等のイベントで配付予定

令和3年 1月 BSL-4 Report Vol.3 7,000部発行



Nプラス BSL-4



BSL-4 Report

長崎大学感染症研究施設の今をお伝えするBSL-4 Reportを創刊。
現在まで3巻、20,000部発行し、約12,000部を周辺世帯にポスティング。
その他、医療・経済団体、公民館等公共施設、国、県・市議会へ配布。